


九州ネット

佐世保バーガーラウンド



長崎県佐世保市開催 H27.11.30 (Fri) 於：佐世保市中部地区公民館

九州ネットワーク研究会「佐世保バーガーラウンド」は、九州学校体育研究発表大会の会場となった佐世保市において開催されました。参加者は26名（県内17名、県外9名〔うち学生2名〕）にのぼり、以下の内容で体育・保健体育に関する研修を深めました。



- 1 開会行事
- 2 トピックス
「評価の観点ごとの十分満足（A）とは」
鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授
- 3 意見交換
「第54回九州地区学校体育研究発表大会
長崎大会」を振り返って

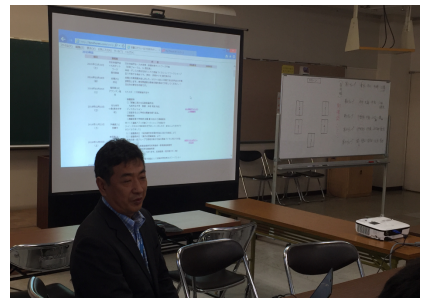
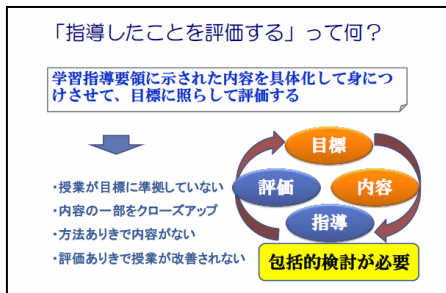
トピックス 「評価の観点ごとの十分満足（A）とは」
鹿屋体育大学 佐藤 豊 教授

現在の体育・保健体育学習における評価の基本的な考え方の歴史的な背景や、評価について、日本と海外、今と昔を比較しながらわかりやすく、また、興味深いお話をいただきました。適正な評価をするためには、観点に応じて評価の機会や方法を工夫することが必要であることなど、様々な情報を発信していただきました。

評価規準の条件

信頼性
どの生徒に対しても、他の教員でもぶれがなく同じ結果が得られること。

妥当性
事実が明確に表現され、教師・生徒・保護者から理解が得られること



意見交換 「第54回九州地区学校体育研究発表大会長崎大会」を振り返って

大会を振り返って小学校、中学校、高等学校の公開授業を参観した感想や疑問について、忌憚のないグループ協議がなされました。各グループで出された意見を一部紹介します。

高等学校の授業における評価において「A」と「B」の境目となる生徒の評価が難しい。皆さんどのように評価しているのだろうか。



中学校の授業では、「役割を果たそう」という関心・意欲・態度の観点についての評価であったが、見取り方について聞きたい。

小学校の授業では児童の実態把握が十分なされており、個人やチームの課題が明確に記されていて大変参考になりました。



ご参加いただきました皆様、ありがとうございました！